

病院内連絡 携帯メールで

コアシステムズが開発 災害の安否確認も

ソフトウェア開発のコアシステムズ(広島県福山市、都築邦昭社長)は携帯電話のメール機能を活用して医師、看護師らへの業務連絡や、災害時の安否確認を効率化する病院向けシステムを開発した。交代制で様々な職種が働く職場の特殊性に対応。職種ごとに細かくメール送信し、回答の有無や回答内容を一覧表で見られるようにした。初年度は全国で500件の導入を目指す。



初年度 500件受注目標

コアシステムズは病院の業務連絡を、コアシステムズが管理するサーバーに送信すると自動的にメールを送信するシステムを開発・販売しており、病院のニーズを踏まえて連絡の二重を踏まえて連絡の安否確認システムを作成した。今月下旬に発売する。病院の連絡担当者がパソコンや携帯電話で「1月の勉強会は6、13、20日です。参加希望日を回答してください」などの型文は登録しておき、毎

病院、メールで業務連絡

コアシステムズ 回答など一覧表を示

【福山】ソフト開発のコアシステムズ(広島県福山市、都築邦昭社長)は携帯電話のメール機能を活用して医師、看護師らへの業務連絡や災害時の安否確認を効率化する病院向けシステムを開発した。交代制で様々な職

種が働く職場の特殊性に対応。職種ごとに細かくメール送信し、回答内容などを一覧表で見られるようにした。今月下旬にも発売する。病院の連絡担当者がパソコンや携帯電話で「1月の勉強会は6、13、20

日です。参加希望日を回答してください」といった業務連絡をコアシステムズが管理するサーバーに送信すると、自動的に医師や看護師、事務職員の携帯電話にメールが届く。内科、小児科など診療

科単位、内科の医師など職種ごとにメール送信できる。使用頻度が高い定型文は登録しておき、毎回打ち込まずに済むようにした。担当者はパソコンや携帯電話でサーバーにアクセスすれば、メールの閲覧状況や回答内容を一覧表で見られる。地震など災害が発生し

た時は安否確認や出勤が可能かどうかといったメールを送信。返信内容を確認できる。初期導入費は3万円。医師、看護師ら利用者が1000人までの病院の月額利用料金は1万5000円。初年度に全国で500件の導入を目指す。

回打ち込まずに済むようにした。担当者はパソコンや携帯電話でサーバーにアクセスすればメールの閲覧状況や回答内容を一覧表で見られる。地震など災害が発生した時は、安否確認や出勤が可能かどうかといった

メールを送信。返信内容を確認できる。コアシステムズによると、病院では業務連絡は本人に直接口頭で伝えたり、貼り紙を出したりする場面が多く、携帯電話のメール機能を活用しているケースはまだ少ないという。

初期導入費は3万円。医師、看護師など利用するスタッフが1000人までの病院の月額利用料金は1万5000円。利用方法などを分かりやすく説明したパンフレットを作製した。